

こぶねだより

神奈川県立大船高等学校
校長通信 3月号③



校長 富樫 由里子

令和2年3月18日

4月中旬の陽気だった数日を経て、14日の土曜日は県内各地に雪が降る寒さでした。その後も風の強い日が続いていますが、ようやく昨日(17日)は太陽がまぶしい一日を過ごすことができました。昨日の早朝、校内の桜が一輪ほころびているのを発見(右)、暖かな日差しを受け、その日の午後にはピンクに膨らんだつぼみが目立つようになりました。明日は教科書購入のために登校する生徒もいますが、臨時休業中に春らしく色づいた敷地内の様子を目にできることでしょう。



すでにマチコミメール等でお知らせしていますが、教科書購入に際しての注意です。

- 教科書・副教材購入表と代金、上履きを忘れずに用意する。
- 購入場所は体育館。昇降口から入り、体育館に移動する。
- それぞれのクラスに指定された時間を守る。
- 購入後はすぐに帰宅する。乱丁・落丁等がある場合は、各自で直接書店に連絡する。
- 書店での直接購入も可。その場合は確認のために学校に連絡を入れる。



★25日に登校日を設けます。つぎのようにクラスごとに登校時間を設定しました。



10:00～10:40 2年1組～5組 11:00～11:40 2年6組～10組
13:00～13:40 1年1組～5組 14:00～14:40 1年6組～10組

新型コロナウイルス感染防止のため、ホームルーム教室ではなく特別教室等広い教室で行います。集合場所等、詳しくは後日マチコミメールと学校ホームページでお知らせします。

「図書館からのおススメ本」が学校ホームページに掲載されています。私も図書館から『日本の洗濯屋が教える間違いだらけの選択術』(洗濯ブラザーズ著)、『いつまでも白い羽根』『晴れたらいいね』(藤岡陽子著)、『ミュージアムの女』(宇佐江みつこ著)、『熱源』(川越宗一著)を図書館から借りて読みました。洗濯に関してはなるほどと思うことばかりで、日曜日には洗濯槽をクリーナーできれいにしたり、洗剤を入れる順序を変えてみたりしています。

今、少しずつ大切に読んでいるのは鷺田清一氏の『岐路の前にいる君たちに』という式辞集。鷺田氏が大阪大学総長や京都市立芸術大学学長を務めていた時の入学式・卒業式の式辞をまとめたものです。「わからないまま的確に問題に処するスキル」「タフな知性に必要な『複眼』」「他者を他者の方から理解しようとする想像力」「体は世界を感知するセンサー」・・・。目次のいくつかの言葉を目にするだけで、この式辞の言葉を直接体に浴びた学生たちはどれほど励まされ勇気づけられたことだろうと思います。大高生の皆さんも、大船高校に入学予定の皆さんも、本を通じてどんどん新たな世界、人、言葉に出会ってほしいものです。

★4月7日に予定している**入学式**は、新型コロナウイルス感染防止のため、保護者や来賓の方のご出席はご遠慮いただき、**新入生と職員とで行う**ことになりました。なお、新入生の登校時刻の変更を検討しています。詳しくはマチコミメールと学校ホームページでお知らせします。**新入生と保護者の方は、20日までにマチコミメールの登録をお願いします。**

(3月18日9時の時点での登録は、新入生が210、新入生の保護者が306となっています。ご登録ありがとうございます。まだの方はお早めをお願いします。)